

PRIME MINISTER CUP 2005

Quarter Final



〔上〕終了間際。ダイビングヘッドでゴールを狙う東平。入ってさえいればと悔やまれるものとなった（撮影・川崎篤彦）

〔右上〕4失点はしたものの、スーパーセーブを連発した牧野。よいパフォーマンスを見せただけに悔やまれる敗戦となった

〔右〕試合中、選手たちに楯を飛ばす秋田監督。試合中の心境はどうだったのだろうか

〔右下〕ゴールへの意識が高く、多くのチャンスを作り出した宮崎



〔下〕ゴール前で相手GK時久と競る赤嶺と巻（撮影・川崎篤彦）
〔左〕先制点を決めた筑城。アテネ五輪代表・徳永とのマッチアップはお互いに譲らず、実に内容の濃いゲームとなった



7月6日18:00 神戸総合運動公園ユニバー記念陸上競技場

駒大3(2-2)4早大
(関東第1) (関東第5)

得点者(アシスト)

【駒】5分:筑城和人1(宮崎大志郎1)
38分:廣井友信1(塚本泰史1)
48分:宮崎大志郎1
【早】42分、44分:兵藤慎剛3
60分:鈴木修人1
87分:横山和信1(兵藤慎剛2)

KOMAZAWA

GK 牧野利昭(4)
DF 塚本泰史(2)
DF 阿部琢久也(3)
DF 廣井友信(3)
DF 筑城和人(3)
MF 桑原 靖(4)
MF 宮崎大志郎(4)
MF 最上大輝(4)
(65分³⁰東平大佑(2))
MF 赤嶺真吾(4)
FW 原 一樹(3)
FW 巻 佑樹(3)

WASEDA

GK 時久吾吾(3)
DF 山口貴弘(3)
DF 金守貴紀(2)
DF 岡 佑亮(4)
MF 金田隼輔(3)
(58分²⁴中島健太(2))
MF 鈴木修人(2)
MF 徳永悠平(4)
MF 玉田英史(4)
(80分²³前田 亮(2))
MF 兵藤慎剛(2)
FW 松橋 優(3)
(69分 横山和伸(2))
FW²⁶渡邊千真(1)

S U B

GK²²山内達夫(2)
DF 小椋慶一(4)
MF 八角剛史(2)
MF²³柳崎祥兵(3)
MF 新川真之介(3)
MF²³小林竜樹(2)

S U B

GK 霜田健仁(4)
DF 塗師 亮(1)
MF 後藤秀平(4)
MF 山本慎斗(2)

MANAGER

秋田浩一

MANAGER

熊田喜則

警告(C)/退場(S)

【駒】62分:最上大輝(C)、66分:巻 佑樹(C)
66分:桑原 靖(C)、82分:廣井友信(C)
89分:宮崎大志郎(C)

【早】37分:岡 佑亮(C)、84分:横山和伸(C)

[シュート]11:6[CK]10:6[FK]4:5[PK]1:0[直接FK]10:19[間接FK]3:4[OS]3:4[主審]森本洋司[観衆]約600人

上記データは全て左側の数字が駒澤



赤嶺真吾コメント

「相手の方が気持ちが入ったと思う。(今日は)気持ちで負けた。やるべき事をしっかり出来ていなかった。(大臣杯を振り替えて)自分達がやるべき事を出来ている時間帯と出来ていない時間帯があるので、一試合通してしっかりやれるようにしていきたい。(課題は)一試合一試合勝つために頑張るだけ」

桑原 靖コメント

「気持ちが入った。監督の言うサッカーが最初から最後まで徹底して出来なかった。監督にも同じ事を言われた。攻めた時にシュートで終われなかった場面で、中途半端な取られ方をすると相手の攻撃に制御させてカウンターを取られてしまうので、終わる所はしっかり終わらないとこういう結果になってしまう。終わったので切り替えてリーグ頑張る。」

牧野利昭コメント

球際などで遅れるからファールになってしまったので、そういう部分で動き出しを速くしなければならぬし、ベース配分を考えていかなければならない。90分間戦い抜くというのは厳しいものがあるので、今日は暑くはなかったが90分間戦い抜くというのが全体を通してもっとやらなければならない。(リーグ戦にむけては)この体験、大臣杯2試合で修正点とか色がな部分であるけれど、最後はやっぱり気持ちなので後期では気持ちを全面にだして、練習からしっかりやって、優勝を目指してやっていきたい」